タウンニュース®
2018年
（平成30年）
8月16日(木)号
No.1134
緑区版
■発　行：株式会社タウンニュース社　https://www.townnews.co.jp
■編集室：〒225-0014 横浜市青葉区荏田西2丁目1-3　TEL：045-913-2711（代）FAX：045-910-1120
■発行責任者：宇山 知成
■編　集　長：小倉 慎司
■緑区版は毎週木曜日発行です

11月30日〆切！ 入会費用減額キャンペーン実施！
●入会時の諸費用から20万円を減額
全日は会員向けの研修や支援サイトなどサービスが充実♪
ラビーちゃん
（公社）全日本不動産協会 神奈川県本部 ☎0120-203-539
ふどうさんはうさぎのマークへ

竹山在住 吉田さん

「必ず、分かり合える」

戦争体験者インタビュー

終戦から73年――。中国でその日を迎えた吉田昌美さん（86歳・竹山在住）。「厳しい戦争中も中国人に支えられた」と当時を思い出す。日中の架け橋となる活動にも奔走した吉田さんに話を聞いた。

吉田さんは、1932年に北海道旭川市で生まれた。父が貿易関係の仕事をしており、6歳の時、日本の勢力下だった中国の漢口（はんこう）へ家族で移り住んだ。父の経営する会社では、1000人以上の中国人を雇用しており、幼少期は、日本語より中国語が身近だったという。

また、日頃から中国人と遊ぶなど、良好な関係を築いていた。「私達家族は、本当に多くの中国人にお世話になった。父の会社も、勤勉でしっかりと働く中国人のおかげで成長できた。交流も盛んだった。確かに、国同士は戦争をしていた。でも、現地では、一人ひとり繋がっていたと思う。現地の楽しい思い出も多い」と振り返った。

中国からの招待状を持つ吉田さん

漢口周辺では、吉田さんが10歳頃までは空襲もなく、穏やかな日々だったという。

空襲と姉の死

1943年頃から、米軍などの連合国軍による空襲が始まった。すると、日常の景色は一変。通学路には、爆弾による大きな穴がいくつも空いた。多くの空襲は夜間。朝、道に死体が溢れ、建物の壁に人の肉片が付着していた記憶は今も鮮明に残る。「終戦間際には、空が敵の飛行機で埋め尽くされた。あんなに恐ろしかった日々はない」と話した。

戦争が激化する中で、多くの傷病兵が病院へ運ばれた。当時病院には、「輸血奉仕隊」の名のもとに学校、地域団体から献血者が集められていた。健康だった吉田さんの姉も参加。しかし、輸血量が多く、17歳という若さでこの世を去ってしまう。父は、娘の悲惨な終末に狂乱。日本刀を振りかざして自室のあらゆる物を打ち切った。吉田さんは「病院などを訴えることはできなかった。戦争で負けるかもしれない。訴えるなど、到底できる状況ではない。家族にとって、悲しすぎる戦争体験だ」と声を詰まらせた。

無言で示した感謝

終戦を迎え、日本人は一カ所に集められた。帰国のため、約1年間、乗船の順番を待つ日々。

そして、船出の日。金品や荷物は持っていくことはできず。捨てられる物目当てに、船乗り場には多くの中国人が集まっていた。人混みの中に見えたのは、必死に会社のために働き、家族同然のように親しかった中国人リョウさんの姿。彼の視線は、明らかに荷物ではなく、日本人を探していた。「1年間、朝から晩まで、ずっと私達家族の船出を待ってくれていた。感謝を伝えたかった。だが、日本人と中国人、言葉を交わすことは許されなかった」。すれ違う瞬間、父は、手持ちのお金をリョウさんの足元に投げ、感謝を無言で示したという。

日中の架け橋に

日本へ帰国後、弟らが中心となり、中国人留学生の受け入れ支援をスタート。「お世話になった国に何かしたい」。そんな思いで約20年続けた功績が認められ、中国に国賓として招待された。観光名所を巡るなど手厚いもてなしを受けた。「絶対に悲惨な戦争を繰り返してはいけない。国が違っても、必ず、分かり合えるから」と語気を強めた。

西日本豪雨

被災地にボランティアへ

星槎学園北斗校 桑原さん

死者200人以上と未曾有の大災害となった西日本豪雨。そんな中、被災地へボランティアとして駆け付けた星槎学園北斗校高等部（十日市場町）2年生の桑原諒さん＝右下写真＝⑯だ。

被災地でボランティアに励む様子（本人提供）

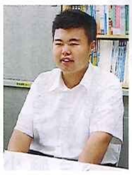
桑原さんの祖父母らは、今回の豪雨で川の堤防が決壊し、浸水被害を受けた岡山市で介護施設の運営に携わっている。幼い頃から長期休みの時には、祖父母の実家や介護施設に遊びに行っていたという親しみのある場所だった。その岡山市に7月6日から降り出した大雨。心配になった桑原さんは、何度も祖父母に電話をかけた。7日に状況を聞くと、「介護施設が床上浸水し、利用者は学校の体育館に避難している」と知らされる。

状況が写真で送られてくることで、次第に大きな被害が出ていることを実感した桑原さん。「写真は、自分がいつも遊びに行っている岡山ではなかった。何ができるかは分からない。でも、役に立ちたい」と一人で現地へ向かうことを決めた。

10日に新横浜駅から新幹線に乗り岡山駅へ。在来線は、本数を減らしていたものの、運行していたため、祖父母の家の最寄り駅までたどり着く。

その後、浸水した介護施設へ。水は引いていたが、床一面泥だらけの状態。「片付けを頑張り、利用者をいつもの施設に早く戻してあげたい」。その一心で、床の掃除、使用できなくなった家具の運搬など、幅広くボランティアに汗を流した。「引っ越し屋さんでアルバイトしているので、体力には自信があった」

印象に残ったのは、近所の公園に使用できなくなった家具などが山積みとなっていた光景。自然災害の凄さを目の当たりにした桑原さんは「災害の現場を初めて見た。長時間いると、頭が痛くなるような油のにおい、大量の砂ぼこりなど、テレビでは、分からない状況を肌で感じることができた」と語った。



6日間のボランティアを終え、東京へ。戻る頃には、全国各地からボランティアも集まってきていたそうだ。「地域の人から『来てくれてありがとう』と感謝された。短い期間だったけど、少しでも役に立てて良かった」と振り返った。

桑原さんの担任を務める北原久史教諭は、「普段から優しい性格。学校を休んでまで、被災地へ駆けつける決心には、驚いた。でも、肌で感じた経験は、将来、きっと役に立つはず」と話した。

ストレッチで運動指導

長津田 餅原接骨院

「冷房のせいで芯まで冷えてしまった身体は、ほぐすことをおすすめします」と、話すのは〝ケガが完治したからもう大丈夫〟ではなく、〝再発をしないような体づくり〟を目指す長津田『餅原接骨院』の餅原勉院長。

餅原院長は、自身が学生時代に大ケガを負った経験を持つ。「聞き上手で話し上手」と自負する院長の経験談や豊富な知識を基に行う問診で、個々の生活習慣や身体の状態を把握する。

自宅でも簡単に

問診の結果から、自宅でも簡単にできる「運動指導」（基本動作、ストレッチ、運動能力向上）に力を入れている。指導料金は自由診療で1回税別2000円（高校生以下税別1500円）。1回10～15分で、股関節など骨盤周辺の大きな関節を動かすなど全身の血行促進や基礎代謝向上を目指す。「冷房の効いた部屋に長時間いると血管が収縮し、血液が全身に行き届かなくなってしまいます」と指摘する。

そのほかに、ダイエット効果も期待できる「骨盤矯正」（税別3000円）では電気治療と矯正を施す。また、全体の体軸を整える「バランス調整」（税別8000円）などのメニューも。バランス調整は肩こりや腰痛はもちろん全身の倦怠感、産後ケア、体力向上に効果が期待できるという。

餅原 勉 院長
- 日本柔道整復専門学校卒業
- 神奈川県柔道整復師会会員
- 日体大アメフト部トレーナー

餅原接骨院
☎045・511・7484
診療時間　往診可
【平　日】8:30～13:00
15:30～20:00
【土曜日】8:30～13:30
※急患は時間外も受付
(休)日曜、祝・祭日
長津田駅　JA田奈　横浜銀行　1時間無料　セブンイレブン　長津田駅南口入口　ココ
(住)緑区長津田5-3-31
HP http://www.mochihara.com

タウン情報

☎045・913・2711
FAX 045・910・1120
✉ midori@townnews.co.jp

結婚 きちんとお見合い 親も喜ぶいい結婚
結婚して幸せな人生を！
ご両親の相談もお気軽に
良縁会☎921・6253

結婚 所属協会が経産大臣認定
■事務所（藤が丘・生田）
最初は、無料相談から！
☎044・976・7548
090・6942・6619
川崎生田相談室⇩HP検索
仲人歴20年
栗橋
（元公務員）

あっとほーむデスク

今年の夏、「戦争の悲惨さを伝える記事を書きたい」との思いから戦争体験者を探しました。取材に多くの人が協力して頂きました。一人でも多くの方に平和への思いが届くことを願います。（坪）

初心者向け
必ずできる、パソコン教室
スマホ・短期資格も！
QRコード
鴨居駅　南口　鴨居駅東　鴨居駅前　東本郷団地入口　鴨居公園入口　ココ
1時間1,000円 どこよりも安い PCタウン
☎045・932・2349　緑区鴨居4-15-6
080・3354・1185　（鴨居駅より徒歩5分）　駐車場有

プロテスタント・キリスト教会
横浜カルバリーチャペル
初めての方も、どなたでも安心！敷居の低い教会
日曜礼拝：11時【約1時間・通常の礼拝】
8/26(日) 午後2時　入場無料
サルーキ＝　サマーロックコンサート
HP：yokohamacalvarychapel.com　☎045-482-9600
サルーキ＝ U.S. Tour 2017
至町田　鴨居駅　至新横浜　コインパーキング　交番　南口　バスターミナル　花屋　まちおか　マクドナルド　メガネ店　京樽　サン・ドラッグ　ダイエー　横浜銀行　ココ
南口徒歩2分

SACHIKO先生の熱中症予防レシピ

MENU 豚肉と野菜のごまだれうどん

体内温度を下げる夏野菜や汗で失われたビタミン・ミネラルを補う豚肉、ごま、味噌で元気に！

材料（4人分）

うどん	4人分	塩	小さじ1/3	砂糖	大さじ1
豚薄切り肉	200g	酒	大さじ1	醤油	小さじ1
ごま油	小さじ2	トマト	2個	★ すりごま	大さじ1と1/2
おろし生姜	小さじ2	きゅうり	2本	練りごま	大さじ1と1/2
		にんじん	小1本	和風だしの素	少々
		味噌	大さじ4	水	300cc

〈手　順〉

①フライパンにごま油を入れて熱し、豚肉をほぐしながら炒める。おろし生姜、塩、酒を加え、豚肉に火が通ったら火を止める。
②トマトはくし形に切り、冷やしておく。
③きゅうりとにんじんは千切りにする。
④鍋に湯を沸かし、にんじんを好みの硬さに茹でて取り出す。きゅうりも10秒茹でて取り出し、すぐに冷ます。その後うどんを茹で、冷水にとり、水気を切る。
⑤★の調味料を混ぜ、最後に水を少しずつ加えてごまだれを作る。
⑥器に盛り付け、⑤を添えて完成！

ポイント

★ごまだれは生野菜や豆腐にかけてもOK

Profile
藤江佐知子さん　下田町在住
管理栄養士で料理研究家。自身で料理教室を開くほか、食育インストラクターとして地域の小学校等で食育教室を行っている。

第2回 緑公会堂フェスティバル
観覧者募集！
8月25日(土) 開演13:30～
【開場13:00】
観覧席で自由にご覧頂けます！（入場無料）
ご家族、ご友人をお誘いの上、ご来場ください！
至長津田　中山駅　JR横浜線　至鴨居　バスターミナル　横浜銀行　パチンコ店　台村町　中山駅南口入口　緑消防署　緑区役所前　緑公会堂
〈問合せ〉緑公会堂
TEL:045-930-2400
FAX:045-930-2393
〒226-0013
緑区寺山町118（緑区役所内）
JR・市営地下鉄グリーンライン
中山駅から徒歩5分
駐車場有料　※駐車場台数には限りがございますので出来るだけ公共機関をご利用ください
出演団体名
①パーカッショングループ元打（打楽器）
②緑区、歌の会（コーラス）
③耀緑吟詠会（詩吟）
④モヒニの会（インド古典舞踊）
⑤MIYABI Hoalaha Hula（フラダンス）
⑥あるろみな（フルートデュオ）
⑦あかね会（日本舞踊）
⑧MW エムダブリュー（ベリーダンス）
⑨三絃会社中　（津軽三味線）
⑩緑スポーツセンターフラダンス教室
⑪森のハーモニカクラブ（ハーモニカ）
⑫森の台小学校金管バンド・シーエンジェルス